

1 プログラムの名称

久留米大学病院群外科専門研修プログラム

2 研修期間

3年間 ※サブスペシャリティ領域と並行可能

3 募集要項

募集人員： 22名

募集期間： 1次 > 久留米大学病院
2次 > 外科専門研修プログラムに準ずる。

応募資格： 医師免許を有している者
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： プログラム応募申請書(1部)
履歴書(2部)

※まずは担当者へお問合せください。

4 診療部長・指導医数

診療部長：久下 亨

指導医数 4名(久留米大学病院 肝・胆・膵外科の指導医数)

5 主な連携施設

(福岡県) 聖マリア病院、九州医療センター、大牟田市立病院、
朝倉医師会病院、筑後市立病院、飯塚市立病院、
共愛会戸畑共立病院、済生会二日市病院
宗像水光会病院、ヨコクラ病院、柳病院
嶋田病院、柳川病院、済生会大牟田病院、
公立八女総合病院、社会保険田川病院、
久留米総合病院、くるめ病院
高木病院、福岡記念病院

(佐賀県) 佐賀中部病院

(長崎県) 佐世保共済病院

(大分県) 済生会日田病院、三愛メディカルセンター

6 プログラムの特色

肝胆膵領域は悪性度の高い疾患が多く、集学的治療が必要となるケースが多い部門です。当施設では内科、病理、放射線科との定期的なカンファランスを通じて、疾患の総合的な病状/病態を理解することができます。複雑な解剖学的特徴から検査は多岐にわたり、超音波検査、CT、MRI(MRCP)、EUS、IDUS、ERCP等の画像検査から病状を把握し、治療戦略を立てていく専門性の高い診断能力を身に着けることができます。また、肝胆膵領域において必要不可欠な超音波検査は外科医自身が行い、術前診断やPTCD、腹腔穿刺等の周術期の処置等を習得します。

当部門の年間手術症例数は300例を超える国内有数のhigh volume centerであり、肝臓、胆道、膵臓それぞれの臓器の術前画像診断、術前処置、手術、術後管理を経験していただきます。腹腔鏡手術も積極的に行っており、肝切除(部分切除、区域切除、葉切除)や膵切除(部分切除、体尾部切除、脾温存体尾部切除)、脾摘術等の鏡視下手術から、ロボット手術を視野に入れた新たな技術の進歩を実感することができます。

7 診療部長から一言

肝胆膵外科は解剖、画像診断の正確さが求められます。病変の評価が数ミリの違いで術式が大きく変わることが良くあるからです。一つ一つの症例に対し全員でディスカッションを行い、治療戦略を立てていきます。最初は難しいかもしれませんが、我々スタッフと共に考え議論し経験を積んでほしいと思います。また、研修期間中あるいは期間後でも積極的に学会発表などの学術活動にも参加していただけます。この経験はたとえ違う専門領域を選ぶことになったとしても貴重な経験となります。共に学び有意義な研修にしましょう。

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部外科学
<http://www.kurume-geka.com>
 〒80-0011 久留米市旭町67
 TEL: 0942-31-7902 FAX: 0942-31-7820
 担当者： 福富 章悟

9 研修プログラムのURL

日本外科学会 <https://www.jssoc.or.jp/>

